

馬術情報

2013
9
No.620

Japan Equestrian Federation Journal

第30回 全日本ジュニア馬場馬術大会2013



ヤングライダー選手権 優勝
高田茉莉亜 & リカルド



ジュニアライダー選手権 優勝
清水晶子 & ガブリエル8

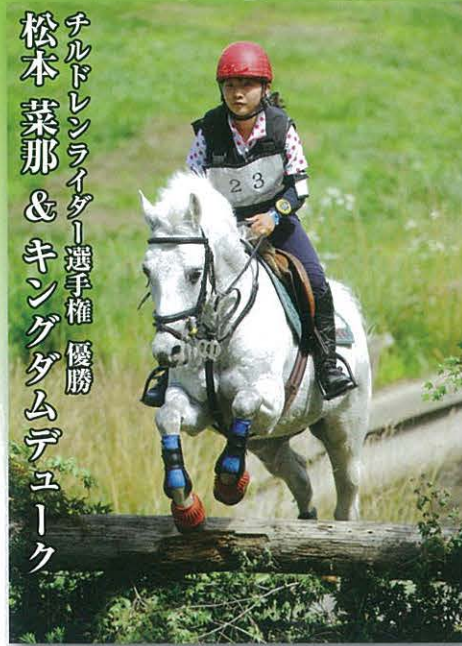


チルドレンライダー選手権 優勝
小森薫子 & ドリームガール

第34回 全日本ジュニア総合馬術大会2013



ジュニアライダー選手権 優勝
大橋実央 & デエストデュファシナシオン



チルドレンライダー選手権 優勝
松本菜那 & キングダムデユーク

Photo : UNITED PHOTO PRESS



公益社団法人 日本馬術連盟
Japan Equestrian Federation
<http://www.equitation-japan.com>



馬術情報は、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。



JOC ジュニアオリンピックカップ大会 第30回 全日本ジュニア馬場馬術大会2013

Date : 2013年7月14日(日)~15日(月・祝) Place : 御殿場市馬術・スポーツセンター

主催 : (公社) 日本馬術連盟 後援 : (公財) 日本オリンピック委員会・日本中央競馬会・静岡新聞社・静岡放送

Photo : UNITED PHOTO PRESS

今年も7月の3連休に《全日本ジュニア馬場馬術大会》を開催しました。大会直前には猛暑が続き人馬の体調が心配されましたが、大会期間中は比較的気温が低く、良いコンディションの中で競技を行うことができました。各クラスの選手権競技の様子をレポートします。

ヤングライダー選手権

高田茉莉亜&リカルドが2度目の挑戦でヤングライダーの頂点に!

ヤングライダー選手権は16~22歳の選手が対象のクラスで、規定演技と自由演技の得点率合計で最終順位を決定する。19人馬がエントリーしたが、3人馬が出場を辞退して実際の参加は16人馬となった。昨年の上位選手がこのクラスを卒業したため、混戦必至。

規定演技は《JEF ヤングライダー馬場馬術課目2009》。高田茉莉亜(アイリッシュアランRS)が1・2位を独占、リカルドで65.581%、ランドトリーシアで64.767%を出した。3位は日本大学4年の柿澤小夜子&桜憧で65.612%となった。

16頭中9頭が60%を超えるハイレベルな競技を審判員も堪能したようだ。「このクラスは馬のクオリティの高さと選手の技術が光りました。特に3位までの人馬は、馬のクオリティを選手が上手く引き出していました。チルドレン、ジュニアの時代から活躍してきた選手は、良い馬に教えてもらって自分の技術を向上させてきているので、基本がしっかり身につく、シートがますます

す良くなっているのを感じました」(平岡順一主審)

決勝には10人馬が進んだ。複数の馬で権利を獲得した場合には1頭を選ばなくてはならないルールで、2頭でクオリファイした選手が3人いたため、規定演技の13位までが自由演技に臨んだ。課目は《FEI 自由演技ヤングライダー馬場馬術課目2009》である。印象的だったのは、誰もが積極的に攻めの演技をしたことだ。ミスも出たが、それをリカバーするために再度その運動を入れてくるところはさすがヤングライダーである。自由演技の結果は高田&リカルド(66.975%)、柿澤&桜憧(66.925%)、小林彩乃&モネ(ウィル・スタッド)(64.400%)で、選手権の総合成績も同順位となった。

高田&リカルドは昨年10位から今年は優勝と大躍進。「何年もこのジュニア馬場に出ています、ようやく自分の馬で勝つことができ感謝無量です。本当に嬉しいです。ずっとリカルドでは苦労してきて、最近少しずつですがお互いに助け合えるようになってきたかなと思っています。去年は初めてのヤングライダーで全然思うような演技ができず、とても悔しい思いをして、来年は絶対に負けたくないと思って練習してきました。今までは馬に助けられてきたけれど、これからは馬を助けられるような乗り方に変えていかないとダメだと思い、厳しく指導していただいてここまでくることができました。今日も4歩毎でミスをしてしまいましたが、速歩が良かったのでそこでカバーできたのだと思います。馬場ラーの意地です。本当にみんなに助けられた大会でした。今年はこの後、全日本馬場のSクラスに出る予定です。近いうちにセントジョージにも出たいと思っています。大人達の中でやるのはまだ先



▲1位 高田茉莉亜 & リカルド



▲2位 柿澤小夜子 & 桜憧



▲3位 小林彩乃 & モネ



▲4位 坂井優美 & ハーモニア



▲5位 香田彬彦 & 明菱



▲6位 後藤寛佳 & ボンジョヴィ

だと思っていたら、意外と近づいて自分でもびっくりです。ただ、ヤングライダーもやっとスタートに立ったところなので、リカルドと一緒にヤングの最後までいきます。ここから突っ走っていきたいです」

1位の高田と僅差の勝負を繰り広げた柿澤は、本格的に馬場馬術を始めてからまだ一年半だ。「昨年は、桜憧で馬場を始めて半年ちょっとで出場して撃沈しました(笑)。桜憧には今年の1月から乗っています。ダイナミックに動く馬ですが、繊細な馬でもあり私の指示に素直に反応し過ぎてミスをしてしまうことがよくあります。でも、素直ですごくいい馬です。今日の自由演技では、4歩毎でミスがありましたが最後にもう一度入れることができましたし、規定でミスしたところは改善して演技ができたと思います。今年一番の目標は全日本学生です。日大がすべての種目で団体・個人を獲得することができるよう、頑張っていきたいと思っています」

チルドレン、ジュニア、ヤングと常に安定した成績を出してきた小林は大学1年生。所属クラブから20分というロケーションが大学を選んだ理由だ。「規定演技では自分がテンパってミスをしてしまいました。今日の自由演技では茉莉亜ちゃんを負かすつもりでいったのですが、最後に音楽を聞き間違えて、2小節遅れていると思って余計なショートカットをして音楽がすごく余ってしまいました。技術面では4歩毎以外



▲7位 神林夏実 & 桜賢



▲8位 本間祥輝 & 明紫



▲9位 小森理美 & レッジオ

ヤングライダー選手権

順位	選手名	馬名	所属	(1)JEFヤングライダー	(2)FEI自由演技ヤングライダー	得点率合計
1	高田茉莉亜	リカルド	アイリッシュアランRS	65.581	66.975	132.556
2	柿澤小夜子	桜憧	日本大学	64.612	66.925	131.537
3	小林彩乃	モネ	ウィル・スタッド	63.953	64.400	128.353
4	坂井優美	ハーモニア	NSG RD	61.588	62.675	124.263
5	香田彬彦	明菱	明治大学	60.077	61.000	121.077
6	後藤寛佳	ボンジョヴィ	早稲田大学	59.534	60.475	120.009
7	神林夏実	桜賢	日本大学	58.410	60.325	118.735
8	本間祥輝	明紫	明治大学	58.255	60.400	118.655
9	小森理美	レッジオ	藤沢RC	61.743	54.050	115.793
10	桑原歩	明桑	明治大学	59.185	55.575	114.760



▲10位 桑原歩 & 明桑

はミスなく終われたので、最近の演技の中では一番良かったと思います。モネはもう20歳なので今年で引退させて、来年からは今年も乗ったもう1頭の馬で本格的にやっていくつもりです」

古川美登利主審のコメントは次の通り。「今年のヤングライダーのレベルは高かったと思います。特に上位2頭はベースの運動も良く、それに加えて芸術性も感じられるプログラムでした。馬の動きが良い分、ちょっとしたミスがありましたが、それをカバーするように、別のラインでもう1回同じ運動を見せる勇氣を持ったチャレンジ精神溢れる乗り方をしてくれたので、非常に将来性を感じます。このクラスになってくると、規定演技で求められるベースに加え、経路や音楽を含めて自由演技をどのようにプログラミングするかが大切ですが、上位3選手は自由演技にも慣れて印象を受けました。ヤングライダーが全体的にとってもレベルアップしていることを実感しました」